

東京平和映画祭

生産革命 『食の選択』 食の原点

原発無策
情報隠し

秘密保護法

『レーン・宮沢事件』
もうひとつの12月8日

『A2-B-C』



©Ian Thomas Ash 2013

どこへ向かうの日本?

もう無関心ではいられない!

『ファルージャ』
イラク戦争
日本人質事件
...そして



支援の現場



©写真提供:週刊MDS



©琉球朝日放送

抵抗

『海にすわる』
～辺野古600日間の闘い～

『日本はイラクで戦争をした』
-問われる謝罪と補償-

国家権力



講演ゲスト
高遠菜穂子氏
イラク支援ボランティア

自衛隊派遣

集団的自衛権



講演ゲスト
三上智恵氏
映画監督

スクリーンから平和を!



<http://www.peacefilm.net>

2014
11.1 (SAT)

お問合せ:東京ピースフィルム倶楽部事務局 (大滝/やよし)
info@peacefilm.net Tel: 070-6988-1505

主催: 東京ピースフィルム倶楽部
協力: 国際有機農業映画祭

国立
オリンピック
記念青少年総合
センター
カルチャー
棟大ホール
(小田急線参宮橋駅徒歩7分)

会場内はバリアフリーです

どこへ向かうの日本? もう無関心ではいけない!

収束まで何10年もかかる福島原発事故を尻目に、**原発輸出や再稼働。憲法9条を解釈改憲し、集团的自衛権を容認。TPP交渉で揺らぐ食や医療の安全。秘密保護法で奪われる私たちの知る権利。** 権力に脅かされる私たちのいのちと暮らし。今回は**権力支配の構造**を中心に映画を厳選しました。私たちがより良い選択をするヒントが満載です!

Yes Peace!
へいわ

上映予定作品

※上映作品・時間などはやむを得ず変更する場合があります。最新情報はHPでご確認ください。

『A2-B-C』

監督: **イアン・トーマス・アッシュ** / 『A2-B-C』 上映委員会 / 2013年 / 71分
日本在住のアメリカ人監督から見た“フクシマ”。子どもたちがガラスバッジを首にかけ、甲状腺の検査結果を口々に話す。母親たちは検査自体への不信を語る。子どもたちの生活環境を線量計で計って回る母親、除染の実態、学校の対応。やり場のない不安と不信と怒りが静かににじみ出す。「グアム国際映画祭 Best of Festival賞」受賞(2014年)。

『レーン・宮沢事件』

～もうひとつの12月8日～

演出: **秋元健一** / ビデオプレス / 1993年 / 52分
1941年太平洋戦争開戦日に特高による全国一斉検挙があり、北海道大学生宮沢弘と英語教師レーン夫妻はスパイ容疑で逮捕された。宮沢さんは容疑を否認したが、拷問・拘禁の末27歳で死亡、のちにデッチ上げ事件と判明する。国が戦争を起こし暴走するようになるのか、秘密保護法が施行される今こそ、この歴史が近未来にならないよう、多くの人に観てほしい作品だ。

『海にすわる』

～辺野古600日間の闘い～

ディレクター: **三上智恵** / 琉球朝日放送 / 2006年 / 47分
「日米の安全協力体制に刺さったトゲ」ともいわれる普天間基地の返還問題。移設先として名護市辺野古があがったのは1996年。本作品は、長年に渡って抵抗を続ける地元のお年寄りや市民を追いかけた伝説のドキュメンタリーだ。テレビ放送の枠を超え、県民の側に立ち、本土では伝えられない辺野古の真実をスクリーンに映し出す。「ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞」受賞(2006)。

『日本はイラクで戦争をした 一問われる謝罪と補償』

製作: **イラク平和テレビ局 in Japan** / 2012年 / 35分
2003年にイラク侵略戦争が始まり、その翌年から5年間、自衛隊が多国籍軍として派遣された。自衛艦が給油した米艦は何をしたか。自衛隊の駐屯地サマワは安全地帯? 他国の兵士と機関銃を手に警備? 思いがけない事実が語られる。市民団体の追及に、「派遣は経済活動の一環」とうそぶく役人。今、集团的自衛権を考えると、本作品の示唆するものは意味深い。

『ファルージャ』

イラク戦争 日本人人質事件…そして

監督: **伊藤めぐみ** / ホームルーム / 2013年 / 95分
10年前イラクで日本人3人が拉致された。武装集団は自衛隊の即時撤退を要求、小泉政権は拒否した。3人の生還を待っていたのは激しい非難と「自己責任」の嵐…。当時18歳だった伊藤監督は、胸に巣食う違和感を清算すべく被害者のその後を追う。**高遠菜穂子**さんは未だ戦火の止まないイラクで重い現実と闘い、今井紀明さんは大阪で若者たちのつらい現実と闘っていた。(今年、第1回山本美香記念国際ジャーナリスト賞受賞)

『食の選択』

監督: **アナソフィア・ジョアンズ** / Ripple Effect films / 2009年 / 72分
安くて便利な食品を選ぶ人が多い今、効率よく工場生産されたものが街にあふれている。しかし肉や野菜の生産現場から、効率優先でいいのかと見直す動きが起き、私たちが育ててくれるいのちの摂理、大自然の原点に還る取組も拡大中だ。日々の食は個人の暮らしや健康だけでなく環境や社会をも大きく変える。未来を守るための食の選択とは。

タイムテーブル

再入場自由!
(入場券の提示をお願いします)

1 10:00
開演
A2-B-C

11:15
休憩 10分

2 11:25
レーン・宮沢事件
(解説あり)

12:25
ランチタイム 70分

3 13:35
海にすわる
(舞台挨拶あり)

4 14:25
講演
三上智恵氏

15:15
休憩 15分

5 15:30
日本はイラクで戦争をした

6 16:10
ファルージャ
(舞台挨拶あり)

7 17:50
講演
高遠菜穂子氏

18:40
休憩 15分

8 18:55
食の選択

20:10
終演

講演ゲスト

三上智恵 (みかみ ちえ) Tokyo Peace Film Festival 11
映画監督

東京生まれ。成城大学で沖縄民俗学を専攻。大阪毎日放送を経て、1995年、琉球朝日放送に入社。「ステーションQ」のメインキャスター、取材、番組制作に奔走。2003年、沖縄国際大学修士課程修了。ドキュメンタリーは沖縄戦や基地問題を主に題材とする。2013年『標的の村』を劇場公開、映画賞多数受賞。現在は琉球朝日放送を退社し、次回作を製作中。

高遠菜穂子 (たかとお なほこ)

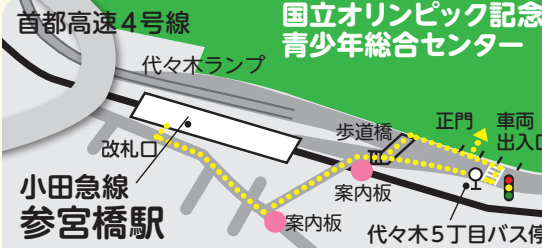
イラク支援ボランティア
北海道出身。大学卒業後、会社員や飲食店経営を経て2000年にインドの「マザーテレサの家」へ。翌年からボランティア活動に専念、タイとカンボジアのエイズホスピスで活動。03年以降はイラクで人道・医療支援を継続中。「イラク戦争の検証を求めるネットワーク」呼びかけ人。著書『破壊と希望のイラク』(金曜日)他。

参加方法 国立オリンピック記念青少年総合センターは研修施設です。当映画祭は会員向けイベントで参加には会員登録が必要です。

- **参加費: 2,500円**
(25歳以下 1,500円、高校生以下無料)
- ① HPで東京ピースフィルム倶楽部に会員登録
《登録・会費無料》→ <http://www.peacefilm.net>
- ② HPの参加申込みフォームに記入して送信
- ③ ゆうちょ銀行「TPFF 実行委員会」の口座に参加費を入金
【ゆうちょ銀行から】00130-2-371802
【他の金融機関から】店名 ○一九(ゼロイチキユウ) 店番 019 / 当座 / 0371802
- ※2名以上の参加費を振り込む場合: 全員のお名前をメールで事務局にお知らせください。
【送先】 info@peacefilm.net
- ※ご利用明細票(または受領証): 当日、受付で入場券と交換します。必ずご持参ください!!

会場アクセス

東京都渋谷区代々木神園町3-1 <http://nyc.niye.go.jp>



- ▶ オリンピックセンターに入って正面階段を上ると左手にカルチャー棟。映画祭は1階大ホール。
- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩7分 ● 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車「代々木公園方面4番出口」より 徒歩10分 ● 京王バス 新宿駅西口(16番) / 渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車すぐ
- ◆ 敷地内に有料駐車場はありますが、なるべく公共交通をご利用ください。◆ お食事は敷地内のレストランや売店をご利用ください。

東京平和映画祭は、みんなで創る映画祭です。
みなさんの参加をお待ちしています♪

サポーター募集中

当映画祭に1万円以上寄付されたかたに入場券4枚をプレゼントし、HPにお名前を掲載させていただきます。振込時に「サポーター」とご明記下さい。お名前の掲載を希望しない場合はその旨もお書き添下さい。詳細はホームページまたは事務局まで♪